<u> I10</u>

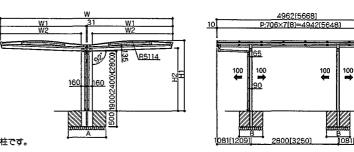
新日軽 フィールポート背面合掌よこ連棟取付説明

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。 商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

納まり図

・本図は標準柱です。〈 〉内寸法は長柱、《 》内寸法は長々柱です。 ・本図は奥行50です。「 」内寸法は奥行57です。 ・→は柱移動範囲を表します。

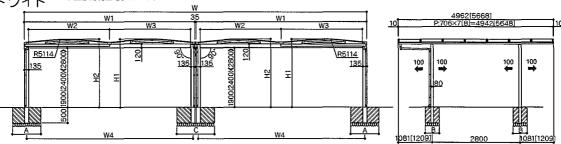
フィールポート



よこ連棟

・本図は標準柱です。〈〉内寸法は長柱、《 》内寸法は長々柱です。 ・本図は奥行50です。「 」内寸法は奥行57です。 ・→は柱移動範囲を表します。

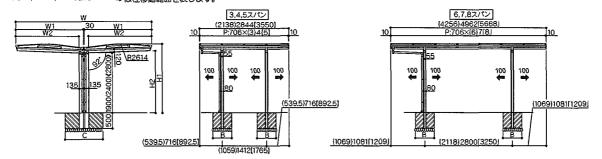
フィールポートワイド



背面合掌

- ・本図は標準柱です。〈 〉内寸法は長柱、【 》内寸法は長々柱です。
 ・本図は間□29(4スパン)、間□50(7スパン)です。()内寸法は間□22 (3スパン)、【 】内寸法は間□36(5スパン) ()内寸法は間□43(6スパン)、「 」内寸法は間□57(8スパン)です。
 ・→は柱移動範囲を表します。

フィールポートミニ



背面合掌・よこ連棟間口寸法表 ●H1,H2は標準柱の寸法です。長柱の場合+500、長々柱の場合+900となります。

		間口24+24	間口25.5+25.5	間口27+27	間口30+30
片流れ	W	4883	5189	5495	6071
	W1	2426	2579	2732	3020
	W2	2263	2418	2570	2858
	H1	2226	2231	2238	2261
	H2	1977	1983	1988	1998

		奥行18+18	奥行21+21
	W	3704	4318
	W1	1837	2144
3=	W2	1699	2006
	H1	2184	2194
	H2	1959	1970

		間口36+36	間口39+39	間口42+42	間口45+45	間口48+48	間口51+51	間口54+54	間口57+57	間口60+60
	W	7327	7941	8555	9119	9685	10301	10909	11487	12063
l	W1	3646	3953	4260	4542	4825	5133	5437	5726	6014
l	W2	1687.5	1687.5	1994.5	1994.5	2277	2431	2583	2583	2871.5
ワイド	W3	1687.5	1994.5	1994.5	2277	2277	2431	2583	2871.5	2871.5
ŀ	W4	3511	3818	4124	4407	4689	4998	5302	5590	5878
	H1	2155	2159	2159	2171	2171	2174	2178	2197	2197
	H2	2155	2155	2159	2159	2171	2174	2178	2178	2197

基礎寸法表

※土間コンクリートを併用しない場合

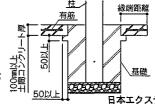
※土間コンクリートを併用する場合

·—	P		
形式	サイズ	納まり	基礎寸法 A(C)×B
片流れ	間口24×奥行50、間口25.5×奥行50 間口27×奥行50 間口24×奥行57、間口25.5×奥行57	背面合掌	900×900
,,,,,,,,	間口30×奥行50 間口27×奥行57、間口30×奥行57	背面合掌	950×950
ワイド	間口36~54×奥行50 間口36~51×奥行57	よこ連棟	650(1200)×650
	間口57,60×奥行50 間口54~60×奥行57	よこ連棟	700(1400)×700
==	奥行18,21×3スパン 奥行18,21×4スパン 奥行18,21×5スパン	背面合掌	650×650
<u> </u>	奥行18,21×6スパン 奥行18,21×7スパン	背面合掌	750×750
	奥行18,21×8スパン	背面合掌	800×800

	片流れ	間口24×奥行50、間口25.5×奥行50 間口27×奥行50 間口24×奥行57、間口25.5×奥行57	背面合掌	700×450	300
		間口30×奥行50 間口27×奥行57、間口30×奥行57	背面合掌	700×450	400
		間口36~54×奥行50 間口36~51×奥行57	よこ連棟	450(600)×450	200
ワイド	間口57,60×奥行50 間口54~60×奥行57	よこ連棟	450(950)×450	200	
ı					

【土間コンクリート併用の基礎条件】

- ●土間コンクリートの厚みが100mm以上であること。 ●有筋であること。
- ●土間コンクリートの下部に、50mm×50mm以上の 突起部を基礎全周に設けること。
- ●基礎縁端部から土間外周部まで距離(縁端距離)が 左記寸法以上であること。
- ●地耐力が50Kn/m以上であること。



日本エクステリア工業会 カーポート基礎共同研究会 報告書より

納まり 基礎寸法A(C)×B 緑端距離

一梱包明細

		部品配号	数量				
	部品名称		間口22・29用 (3・4スパン)	間口36・43用 (5・6スパン)	奥行50・57用 (7・8スパン)		
	背面合掌ブラケット	EB-2501	3	4	5		
	背面合掌柱固定金具	UB-1113	8	8	8		
	Φ5×12トラス(タッピン3種)	3TA5×12S	8	8	8		
	M6×30六角ポルト	BH06×30S	3	4	5		
背面合掌用	M6用袋ナット	NFD06S	3	4	5		
	M6用平座金	ZC06S	3	4	5		
	M6用バネ座金	ZF06S	3	4	5		
	背面合掌カバーキャップ	CY-3040	2	2	2		
ļ l	Φ4×12ナベビス(タッピン2種)	2PA4×12S	4	4	4		
	取付説明魯	ME-2007	1	1	1		

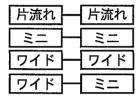
	部品名称	部品記号	数量	
	背面合 掌 連棟カバー	CY-1948	1	
背面合掌連棟用	ゴムワッシャー 付きテクスピス	BN-310-01	4	
	コーキング剤	NBC-256	1	

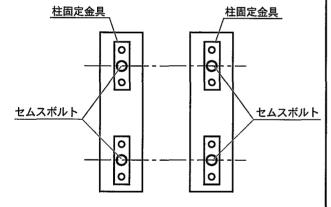
1 柱の固定位置

片流れ+片流れ ワイド+ワイド

ミニ+ミニ ワイド+ミニ

①どの組合せにおきましても、柱固定金具の中央の穴にセムスボルトにて取付けて、柱2本を固定してください。(下図参照)



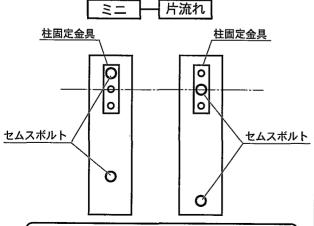


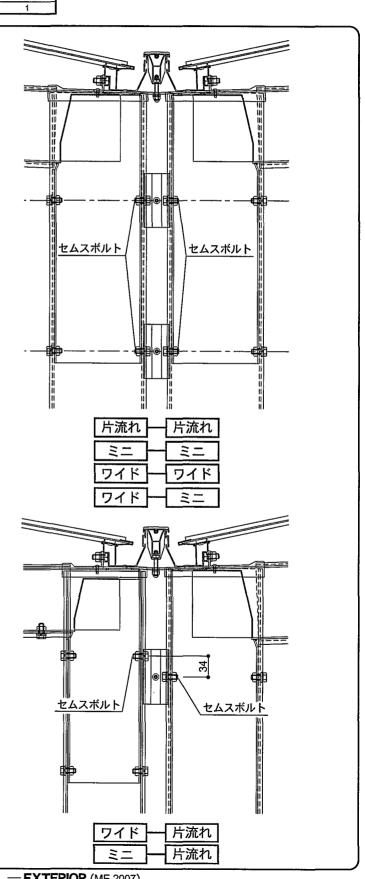
ワイド+片流れ ミニ+片流れ

①ワイド・ミニは、柱固定金具の上穴に、片流れ タイプは中央の穴にセムスボルトにて取付け て、柱2本を固定してください。(下図参照)

ワイド

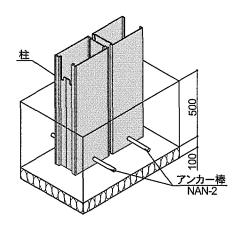
片流れ





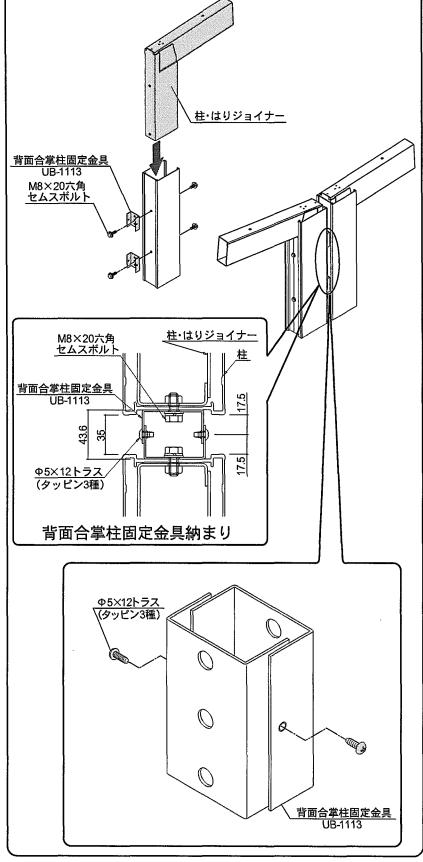
1 基礎の施工

- ①コンクリートの施工は、骨組み完了後に行って ください。
- ②柱の固定位置は納まり図(もしくは2、3ページ) を参照してください。
- ③必ずアンカー棒を使用してください。
- ④ 基礎寸法及び埋め込み寸法は、図の寸法以下 にならない様に施工してください。 ⑤柱の移動は範囲を守ってください。



2 柱の取付け

- ①柱・はりジョイナーを柱に差し込み、背面合 掌柱固定金具を柱・はりジョイナー取付けボ ルトにて取付け、柱2本を固定してください。
- ②本体の取付説明書(片流れ用: ME-1998,ワイド 用: ME-1999, ミニ用: ME-2000) を参照して、 本体の組立てを行ってください。





柱・はり、ジョイナーの組合せを下記 の表で確認し、正しく施工してくだ さい。

片流れ

	判別方法	奥行50		奥行57		延長部	
		間口24~27	間口30	間口24~27	間口30	間口24~27	間口30
標準柱·長柱	補強材の有無	無し		有り		無し	
長々柱	MI SALL CALLET BUIL			4	事り		
はり	シールの種類	L50	シール無し	L57	シール無し	L50	シール無し
ジョイナー	刻印の種類	EB-2493	EB-2494	EB-2494	EB-2494	EB-2	2493

ワイド

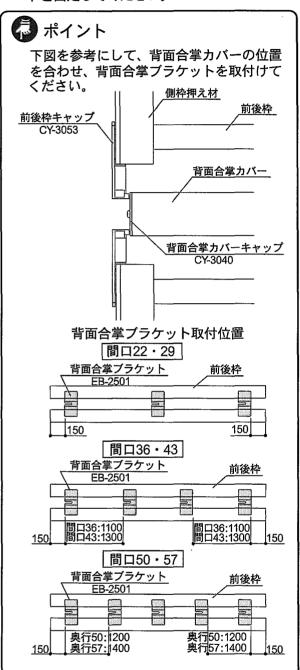
	判別方法	奥行50		奥	ਜਿ57	延長部	
		間口36~54	間口57~60	間口36~54	間口57~60	間口36~54	間口57~60
標準柱・長柱	補強材の有無	無し		有り		無し	
長々柱	m H Co Co Ed Wei			1	ī U		
はり	シールの種類	L50	シール無し	L57	シール無し	L50	シール無し
ジョイナー	刻印の種類	EB-2497	EB-2498	EB-2498	EB-2498	EB-2497	EB-2498

==

	判別方法	奥行	18	奥行21		
i		間口22~50	間口57	間口22~50	間口57	
標準柱・長柱	補強材の有無	無し	有り	無し	有り	
長々柱	THE FET CO EXPLICE	有り				
はり	シールの種類	シール無し	L57	シール無し	L57	
ジョイナー	刻印の種類	EB-2718	EB-2719	EB-2718	EB-2719	

3 背面合掌カバーの取付け

- ①背面合掌カバーにボルトを通し、平座金・バネ
- 座金・袋ナットを仮止めしてください。 ②背面合掌カバーキャップを背面合掌カバーに ビス止めしてください。
- ③背面合掌カバーを前後枠(柱側)に乗せ、下図を 参考にして位置を合わせて背面合掌ブラケッ トと固定してください。



4 背面合掌連棟・延長

- ①連棟側の背面合掌カバーにボルトを通し、平 座金、バネ座金、袋ナットを仮止めしてくだ さい。
- ②単体側の背面合掌カバーを固定し、連棟側の 背面合掌カバーを単体側に突き当てた位置で 固定してください。
- ③背面合掌連棟カバーを、連結部が真ん中に来 る様に取付けてください。

